



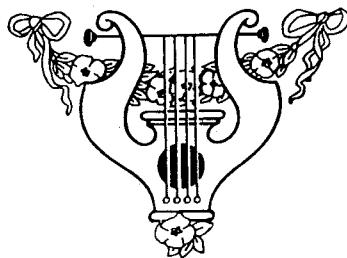
鎌倉交響楽団

第48回定期演奏会



神奈川芸術祭交響楽フェスティバル参加

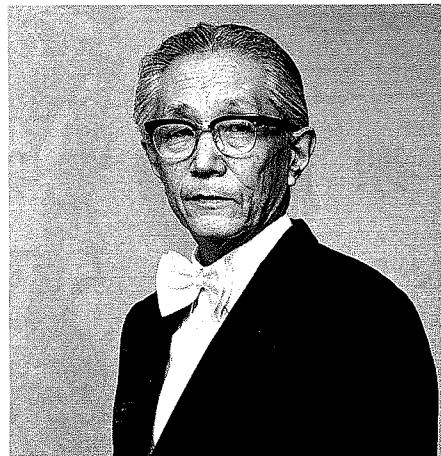
かまくら文化祭参加



'86 11月15日(土)6:30p.m.

鎌倉市中央公民館分館

●プロフィール●



◀前田幸市郎（常任指揮者）

東京生まれ。東京音楽学校研究科卒。指揮法を尾高尚忠、クルト・ヴェス、その他諸氏に師事。以来、今日に至るまで様々なプロ、アマのオーケストラや合唱団を指揮し、その実績は不動のもの。現在、横浜国立大学教授。



(チェリスト)倉田澄子▶

チェロを斎藤秀雄、ポール・トルトゥリエ両氏に師事。パリ国立音楽院卒業。パリのU.F.A.M. 国際音楽コンクール（室内楽・三重奏部門）第1位。ヨーロッパ各地と東南アジアでソロと室内楽の演奏活動を行う。現在、桐朋学園音楽大学非常勤講師。

鎌倉交響楽団第48回定期演奏会

曲 目

指揮／前田幸市郎

- I モーツアルト 交響曲第41番ハ長調「ジュピター」
I アレグロ・ヴィヴァーチェ
II アンダンテ・カンタービレ
III (メヌエット) アレグレット
IV (フィナーレ) モルト・アレグロ

（休 憩）

- II ドヴォルザーク チェロ協奏曲ロ短調 チェロ／倉田澄子
I アレグロ
II アダージョ・マ・ノン・トロッホ
III アレグロ・モデラート

III スメタナ 交響詩「わが祖国」より「モルダウ」
モルダウの源
森の狩猟
農民の踊り
月の光・水の精の踊り
聖ヨハネの急流
モルダウは堂々と流れていく

[後援] 鎌倉市・鎌倉音楽クラブ

演奏曲目 Q & A

Q. モーツアルトが交響曲第41番「ジュピター」を作曲したのはいつ頃ですか？

A. 今から198年前の1788年、フランス革命の前年です。この時彼は32歳、死の3年前です。伝えられるところでは、この年の6月26日に第39番、7月25日に第40番、そしてそのわずか2週間後の8月10日にこの第41番を完成しました。わずか6週間ばかりの間に、こんなに趣の異なる大作を3つも仕上げた彼の天才ぶりには今さらながら驚かされます。

Q. その頃のモーツアルトの生活は？

A. この年の前年には、オペラ「ドン・ジョバンニ」を完成し、この年には3大交響曲の他にピアノ協奏曲「戴冠式」、翌年にはクラリネット五重奏曲等の名作がめじろ押しで、創作的にはモーツアルトの生涯で最も充実した時期といえるでしょう。反面、夫婦とも金使いの荒っぽいモーツアルト家の家計は、この頃から窮屈の度を加え、フリーメーソンの同志プーホベルクへの借金の申込みが毎月続きます。この曲の作曲でも収入はゼロでした。

Q. どうしてですか？

A. この頃のモーツアルトは、誰かに頼まれたり、委託を受けて作曲をするということはしなくなり、これら3大交響曲も自からの芸術的表現として書いたもので、そういう意味では彼以後の音楽芸術のあり方を示唆するものといえます。実際には経済的窮状打開の一策として自分から企画した、いわゆる予約演奏会のための新作としてこの3大交響曲を書いたのです。しかしこの演奏会は開かれた形跡はなく、そればかりか彼が生存中にこれらの曲を指揮したり、演奏を聞いたという証拠すらありません。

Q. 「ジュピター」の名の由来は？

A. イギリスのピアニストであり作曲家であったJ. B. クレーマーが1821年にそう呼んだのが始まりといわれます。

'87ニューイヤーコンサート

●曲目／

J.・シュトラウス
「こうもり」序曲
フロコフィエフ
「ピーターと狼」他

●とき

62年1月25日(日)

●ところ

鎌倉市中央公民館分館

鎌響団員募集中！

オーボエ
トランペット
弦楽器
(ヴァイオリン、ヴィオラ)
(チェロ、コントラバス)
経験者歓迎

※連絡場所
宇多宅

0467-22-2242

～鎌倉名代～
御酒まん
義経女夫饅頭
静一御郷土菓子処

松風堂本店
鎌倉若宮大路
0467-22-0666

Q. この曲の特徴は？

A. まずモーツアルトのオーケストラのための音楽としては最も長大なものであると共に、その構築も最も精緻なものであるという点でしょう。第1楽章は力強さと壯麗さを印象づけるテーマで始まりますが、第3小節では全く対照的な、そして本当にモーツアルト的な優美な第2のテーマへと続きます。そして対位法的な展開のうちに、やがて第1のテーマが優位となります。第2楽章は、モーツアルトの音楽の中でも最も緊張度の高い叙情的な作品です。弱音器をつけた弦楽器が華麗なテーマを奏しますが、その中にもすでに悲劇的な影がさし込んでいます。両者の対照が徐々に高まっていきます。第3楽章では、いかにもモーツアルトらしい軽やかさがメヌエット型式で戻ってきます。弦と管がかけ合うトリオの部分は実にウイットに富んだ楽しい音楽です。この交響曲が「ジュピター」と名付けられたのは間違いで、内容は全々オリンポス的でなく、全く人間的な優しさと楽しさそのものである、という意見も多いのですが、もし「ジュピター」という名前が正しいとすれば、それは次の第4楽章によってでしょう。モーツアルトの生涯における最後のシンフォニックな作品ともいえるこの楽章は作曲技法から見ても極めて高度なものです。ソナタ形式でありながらフーガの技法も自由に駆使し、それが頂点に達した所で長大なコーダへとなだれ込みます。基幹をなす4つの音からなるテーマは、モーツアルトのもっと若い時の作品にも使われているものですがここではそれが最高度に自由自在に展開され、もはや彼の音楽に興味を示さなくなっていた当時の世界へのこのようなオリンポス的な音楽を書くことによってすでに別れをつげようとしたのではないでしょうか。毎月自分の音楽のように一作(?)毎に全く趣の異なる借金申込みの手紙を書きながらこういう音楽を書いたアマデウス！

Q. アントニン・ドヴォルザーク「チェロ協奏曲」がチェロのための音楽として画期的な作品であるといわれる所以は？

A. ロマン派以前には、ボッケリーニとハイドンの協奏曲があり、ロマン派としてはシューマン、ラロ、サンサンス等による協奏的な曲がありますが、シンフォニックなスケールからも、その充実した内容からも全ての点で、それ以前の作品を凌駕する傑作だということです。年老いたプラームスをして、「どうして自分はチェロ協奏曲を書くことを考えつかなかったのか！」と残念がられたのはこの曲を聞いてのことです。

Q. アメリカで書かれた作品とか？

A. 1892年、51歳の時にニューヨークのナショナル音楽院の院長として招かれ3年間渡米しましたが、その間に交響曲「新世界より」、弦楽四重奏曲「アメリカ」等の名曲を書きました。そのアメリカ滞在の終りの頃1894年から1895年にかけて書かれました。初演はイギリスの名手レオ・スタンのチエロ、ドヴォルザーク自身の指揮するフィルハーモニー交響楽団によって行われ大歓迎を受けました。

Q. アメリカで作曲されたことがこの曲に影響を及ぼしていますか？

A. たしかに彼は滞米中にアメリカン・インディアンの民謡や黒人靈歌に大変興味をもち、かなりの調査・研究をしていますが、それが彼の作品に直接影響したかどうかは大いに議論のあるところです。例えば「新世界」については、最初「アメリカのナショナル・メロディーの精神で作曲した」と語っていますが、後には「純粹なボヘミヤ音楽である」として、黒人音楽やインディアン音楽との関連を完全に否定しています。

Q. 人物について一言。

A. 精神的にも肉体的にもヘンデル、ハイドンと並んで音楽史上まれにみる健康な作曲家であること、

極めて情に厚く多くの人に慕われたこと、オルガンとビオラを弾いたこと、音楽以外では余り知識レベル(?)は高くなく、かろうじて文盲でなかつた程度だが常に独創的で無尽蔵ともいえるメロディーを次から次へと作ったこと、汽車が大好きで毎日プラハの駅へ汽車を見に行ったり、時刻表は全部暗譜で覚えていたり、自分が駅へ行けない時は弟子に駅へ行かせて何型の汽笛車が何型の客車を引っぱっていたかを調べさせたりしたこと、等でしょうか。

Q. ベドルジハ・スマタナの作品は今日演奏される「モルダウ」とオペラ「売られた花嫁」ぐらいしか知らないのですが？

A. 現在国際的に人気があるのは、この2曲の他には自伝的な作品である弦楽四重奏曲「わが生涯より」ぐらいですが、祖国チェコスロバキア(当時ボヘミヤ)では、スマタナは「チェコ音楽を確立させた」音楽家として、「チェコ音楽を世界に普及させた」ドヴォルザークよりも国民的英雄として、より高く尊敬されています。従ってスマタナが作曲した8つのオペラのうち「売られた花嫁」以外のものも頻繁に上演されることがあります。しかし晩年はベートーベン同様に完全に聴力を失い「モルダウ」も内心の樂想だけに基づいて書かれた作品です。

Q. 「モルダウ」とは？

A. 1874年から5年かけて書いた連作の交響詩「わが祖国」全6曲の第2曲で、チェコの國河ともいいうべきヴルタヴァ河(モルダウはドイツ語名)の源流からエルベへ流れこむまでの風景描写を通じて、祖国とチェコ国民への賛歌として書かれています。6つの部分からなります：「モルダウの源」「森の狩猟」「農民の踊り」「月の光・水の精の踊り」「聖ヨハネの急流」「モルダウは堂々と流れいく」。

(増田正彦)

健保・労災取扱

**大船
整骨院**

佐藤元一
大船駅前 協和銀行隣
サトウビル
0467(45)6700(代)

31-1960

あなたの音楽の要求をプロの店

ミュージックショップY

が解決します。

レコード・楽器・楽譜・オーディオ
のご相談は

“音楽の出前持ち”

ミュージックショップY

TEL.31-1960 鎌倉市七里ガ浜東4-14-1



珈琲・洋菓子

177

小町通り (22) 2689
(22) 8963

鎌倉響たよる

——私達の出番をお見逃しなく——



第1バイオリン
ドヴォルザークのソロは聴きのがせません



木管
私達ソリスト集団です



第2バイオリン
ジュピターの終楽章で御注目



チェロ
モルダウの豊かな流れをお聴き下さい



金管 出番は全てソロと思っています



ビオラ
バイオリンのソロ（ドヴォルザーク）
の時、こちらも見て下さい



コントラバス
フィナーレ（ジュピター）では
低音の魅力も十分にお聴き下さい

通勤・通学服もおしゃれ着もすべて**1日でOK!!**

ドライクリーニングのクイックサービス (午前中にお出し下されば夕方迄に仕上ります)

ファッショニ クリーニング
スピード・クリーン

逗子本店(71)3293 茅ヶ崎十間坂店(85)9209 鎌倉由比ヶ浜店(22)1501
逗子駅前店(73)8114 茅ヶ崎共恵店(85)7310 鎌倉大町店(25)3722
逗子ハイランド店(72)1131 ●AM9:00~PM7:00 (日曜定休) 鎌倉深沢店(32)2751

→ ヤマハ音楽教室 ドレミファ楽器 →

■お問合せ、お申し込みは――

●鎌倉センター ●逗子センター

鎌倉市小町1-5-27 カトレヤ4F 逗子市逗子2-1-15 井上ビル3F

☎0467(23)2354 ☎0468(71)9600.

※日曜・祭日はお休みです。

♪生徒募集中♪

- ハ.一 ブ科
- フルート科
- マリンバ科
- シンセサイザー科
- エレクトーンメイトコース

KIRIN
力仕事へ飲む

うまさに言葉はいらない。

素晴らしきショットを見たとき、思わず「言葉を忘れる。喜びが残る。

素晴らしいショットを見たとき、思わず「言葉を飲み込む。感動だけが心にある。

本物は、いつも言葉を越える。本物は、いつも心にある。

まん中にある、うまさと言葉をしない。まん中でキリン。キリンビール。

まん中に キリンビール



未成年者の飲酒は法律で禁じられています。

キリンビール株式会社